



カケハシ・プロジェクト（招へいプログラム） （アメリカ、議会関係者）の記録

1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラム「カケハシ・プロジェクト」として、米国より議会関係者7名が、2017年2月19日～24日の5泊6日の日程で来日し、日本の政治、経済、社会、文化、歴史及び外交政策等などの対日理解促進を目的としたプログラムに参加しました。省庁講義、歴史的建造物視察、伝統文化体験等を通じて幅広く日本を理解する機会を持ちました。

【参加国・人数】

アメリカ 7名

【訪問地】

東京都、京都府

2. 日程

2月19日（日）	成田国際空港より入国
2月20日（月）	【講義】国家安全保障局 【講義】外務省 【講義】防衛省 【講義】経済産業省
2月21日（火）	【歴史的建造物】明治神宮 【視察】海上自衛隊横須賀基地 【表敬訪問】堀井巖参議院議員
2月22日（水）	京都府へ移動 【文化体験】座禅体験、日本庭園、茶道体験（妙心寺） 【歴史的建造物】清水寺
2月23日（木）	東京へ移動中 【先端技術視察】新幹線運転台 【講義】東海旅客鉄道株式会社（JR 東海）
2月24日（金）	成田空港より出国

3. プログラム記録写真 東京都

	
2/20 【講義】外務省（東京都）	2/20 【講義】防衛省（東京都）
	
2/21 【歴史的建造物】明治神宮（東京都）	2/21 【視察】海上自衛隊横須賀基地（横須賀市）
	
2/21 【表敬訪問】堀井巖参議院議員（東京都）	2/23 【講義】東海旅客鉄道株式会社（JR東海）（東京都）

地方プログラム 京都府

 2/22 【文化体験】日本庭園（妙心寺） （京都市）	 2/22 【文化体験】座禅・茶道体験（妙心寺） （京都市）
---	---

4. 参加者の感想

◆ アメリカ 社会人

本プログラムで特に役に立ったのは、日本の政府関係者からの講義であり、安全保障、貿易問題に関する見解を学ぶことができました。これらについては文書や記事などで情報を得ることはできますが、今回訪日して各分野の専門家である日本人から直接日本の優先事項、懸念事項、分析などの問題を聞き、初めて身近に感じられました。

また、日本の文化や歴史について学ぶことができ、現在の日本の意思決定のプロセスや展望を知る助けになると思いました。カケハシプロジェクトで来日出来て良かったと感じています。

◆ アメリカ 社会人

本プログラムを大いに楽しむことができました。なかでも地域安全保障担当者のブリーフィングと外務省での外交講義が最も印象に残っています。また、京都への旅行はとても素晴らしかったです。現代の問題について、日本の歴史、宗教的、文化的な面を辿りながら学ぶことができ、大変影響力のあるプログラムでした。日本人のおもてなしの心は素晴らしく、どこへ行っても歓迎の意が感じられました。素晴らしい機会を有難うございました。

◆ アメリカ 社会人

日本人の親切さと寛大さを感じ、とても嬉しく思いました。どこへ行っても歓迎の意が感じられました。地理的、歴史的特徴を知って、新たな視点をもつことができました。また、日本文化について今まで以上に強く興味を引かれました。最後に、日米相互関係にとって地理的、経済的な強みが極めて重要であると考えていますが、あらためてその感を強めました。